

機関誌

埼危連

SAIKIREN

第5号

平成26年8月10日発行



公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会

発行所：公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会
埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5

発行者：会長 清宮 安雄
印刷：(株)櫻井印刷所

目 次

ご挨拶	公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会 会長 清宮安雄	1
平成26年度通常総会開催		2
危険物事故防止連絡会		2
平成26年度埼玉県危険物安全講演会		2
危険物安全功労者表彰		3
埼玉県危険物安全協会連合会表彰		3
1 優良危険物事業所		4
2 優良危険物取扱者		5
3 優良普及啓発活動		5
危険物施設における事故事例と安全対策	危険物保安技術協会 松尾茂美	6
平成25年度事業報告・決算報告		10
平成25年度事業報告		10
平成25年度決算報告		11
平成26年度事業計画・収支予算		14
平成26年度事業計画		14
平成26年度収支予算		15
会員名簿		16
役員名簿		17
平成26年度危険物取扱者保安講習のご案内		18
平成26年度（後期）危険物取扱者試験準備講習会のご案内		18

表紙写真

草加市の中心部を南北に流れる綾瀬川右岸沿いの松並木「草加松原」です。日光街道の宿場町だった旧草加宿の北側に位置し、寛永7年（1630）の草加宿開宿時、又は天和3年（1683）の綾瀬川改修時に松が植えられたと伝えられています。

松尾芭蕉の「おくのほそ道」にも草加宿の名が記され、江戸時代から知られる日光街道の名所ですが、昭和40年代（1965～74）には、根元を通行する車両の排出ガスや振動により60本程度にまで減少しました。その後市民を中心にした保護活動が行われ、並木は徐々に復活。平成24年（2012）には古木・若木合わせて634本の松が美しい並木を形成しています。

並木は現在、市道及び都市公園「草加松原公園」として整備され、遊歩道の両側に長さ1.5kmにわたり松が立ち並び、訪れる人々の憩いの場となっています。幹回りが約2メートルにも及ぶ複数の老樹を含め、川に沿って線状に延びる並木道の風景は壮観であり、今なお「おくのほそ道」の時代の雰囲気伝える一連の風致景観の一つとして評価され、平成26年3月、国指定名勝に加えられました。（写真提供：草加市）



ご挨拶

公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会

会長 清宮 安雄

日ごろ、当連合会の事業の推進につきまして、格別の御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、私は、去る5月13日の通常総会、臨時理事会におきまして、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長に再選され、就任いたしました。

もとより微力ではありますが、誠心誠意、職務を全うすべく一層の努力をする所存でございますので、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

当連合会の設立目的である「危険物に起因する災害の防止を図るため、危険物の安全管理体制の確立と危険物取扱者の資質の向上を促進し、もって社会公共の安全に寄与すること」を常に銘記し、「民による公益の増進」の一翼を担う法人として、防災思想普及啓発事業や講習事業といった公益目的事業を中核にいたしまして、消防法に基づく危険物の安全管理に向け、鋭意事業を推進してまいります。

私たちの携わる危険物は、工業製品の原料や自動車などの燃料として、社会経済活動に必要不可欠なものであります。そして、たいへん身近なもので、日常的に接していることから、安全管理の意識が希薄になりがちです。

しかしながら、危険物の火災・爆発や漏えいなどの事故が発生しますと、多くの生命や財産を奪うばかりではなく、周辺地域にも環境汚染等大きな影響を及ぼします。また、事故の状況によっては、事業の存続に致命的な損害を与えかねません。

当連合会におきましては、危険物安全管理思想の普及啓発や危険物取扱者への保安講習、危険物取扱者準備講習会などを実施して、防災意識の高揚と危険物取扱者の資質向上を図り、危険物事故の撲滅のためにさらに努力を重ねて参る決意でございますので、皆様方には、これまでも増して、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

危険物

読みはまっすぐ

ゼロ災害

平成26年度通常総会開催

平成26年度通常総会は、平成26年5月13日、さいたま市中央区のブリランテ武蔵野で開催されました。

総会では、平成25年度の事業報告及び決算報告である第1号議案及び第2号議案が一括して説明され、特に質問はなく、承認されました。

また、第3号議案平成26年度会費について及び第4号議案任期満了に伴う次期役員の選任についても、原案のとおり可決されました。(10頁～13頁参照)

平成26年3月12日に開かれた理事会で決定された平成26年度事業計画及び平成26年度収支予算について、事務局から報告がなされました。(14頁～15頁参照)

総会及びその後に行われた理事会で選出された役員は、17頁(役員名簿)のとおりです。

危険物事故防止連絡会

埼玉連副会長、埼玉県消防防災課長、さいたま市消防局長、各ブロック代表消防長などで構成される埼玉県危険物事故防止連絡会が平成26年6月12日、埼玉会館会議室で開催されました。

会議では、まず、消防防災課から埼玉県内の危険物事故の発生状況について説明がありました。

埼玉県内の危険物に係る事故件数は、平成13年の55件をピークに近年は30件前後で推移しており、平成25年は、22件で、前年に比べて7件の減少。

事故を危険物施設別に見ると、最近の5年間では、給油取扱所が最も多い。

事故の発生原因は、人的要因、物的要因、その他の要因で区分すると、最近5年間では、人的要因が76件(全体の51%)で最も多く、誤操作、操作確認不十分などである。

次に、事故事例資料について、新たに追加してホームページに掲載する事故事例3件が了承されました。

この事故事例資料は、類似の原因による危険

物事故が繰り返し発生していること、そして過去に起こった事故事例には、様々な教訓が含まれていることから、県内で発生した事故事例について、事故の原因や対策等を整理し、ホームページで紹介されています。

是非、ホームページをご覧ください、事故防止の参考にさせていただきたいと思います。

(<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/kiken-buturenrakukai.html#hoankyousiryoushou>)

平成26年度埼玉県危険物安全講演会

平成26年度埼玉県危険物安全講演会が、6月12日、埼玉会館において、県、埼玉県危険物事故防止連絡会と当連合会の共催により開催されました。

まず、澁澤陽平埼玉県消防防災課長から、あいさつがあり、その後、当連合会の清宮安雄会長があいさつしました。

清宮会長は、あいさつの中で、危険物事故の現況に触れ、今年の標語「危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害」を引用して、「皆様には、危険物災害ゼロにまっすぐ向かったラインを正確に読んでいただきたい。」と事故防止を訴えました。

次に講演に入り、危険物保安技術協会危険物事故防止調査研修センター事故原因調査課長の松尾茂美氏から、「危険物施設における事故事例と安全対策」と題して、講演が行われました。



危険物安全功労者表彰

平成26年5月13日の当連合会通常総会に引き続き、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰及び関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰の伝達が行われました。

平成26年度危険物安全大会は、6月9日、東京都千代田区のスクワール麹町において開催され、危険物安全功労者に対して、消防庁長官表彰や(一財)全国危険物安全協会理事長表彰が行われました。

平成26年度安全功労者総務大臣表彰の表彰式は、7月4日、千代田区のスクワール麹町で行われ、当連合会の理事である馬場常正川越地区危険物防火安全協会会長が受賞しました。

それぞれ受賞者は次のとおりです。(敬称略)皆様、たいへんおめでとうございます。



安全功労者総務大臣表彰

馬場 常正 川越地区危険物防火安全協会会長

消防庁長官表彰

○危険物保安功労者（個人）

榎田 達治 比企地区危険物防火安全協会会長
田島 英治 児玉郡市防火安全協会会長

○優良危険物関係事業所

秩父石灰工業株式会社

(一財)全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

中澤 孝芳 入間市防火安全協会会長
大澤 正夫 上尾伊奈防火安全協会会長
山下 忠雄 幸手市危険物安全協会会長

○優良危険物関係事業所

大鵬薬品工業株式会社埼玉工場

○感謝状

玉村 和英 前埼玉連常務理事

関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰

○協会発展と災害防止功労

市ノ瀬征雄 志木市保安防火安全協会会長
古川 一郎 草加市防火協会副会長
内野 徳治 所沢市防火安全協会副会長
志村健太郎 狭山市防火安全協会副会長

○諸設備の充実と安全管理功労

有限会社荒井商事	(北 本)
有限会社川角石油	(西入間)
サンケン電気株式会社	(新 座)
有限会社柳屋商店	(和 光)
アキヤマ石油産業株式会社深谷南SS	(深 谷)
株式会社明治埼玉工場	(春日部)
有限会社不動岡プロパン	(加 須)
関東化学株式会社草加工場	(草 加)

埼玉県危険物安全協会連合会表彰

○感謝状

駒澤 徳次 前埼玉連理事
中澤 孝芳 前埼玉連理事
玉村 和英 前埼玉連常務理事

○優良危険物事業所

○優良危険物取扱者

○優良普及啓発活動

次ページよりの一覧に記載

埼玉県危険物安全協会連合会表彰（続き）

1 優良危険物事業所

危険物施設において、危険物施設の安全管理に努め、他の模範となる事業所

No.	事業所	地域
1	中外化成 株式会社	さいたま市
2	稲荷屋興業株式会社 浦和中央自動車教習所	〃
3	佐藤興産 株式会社	〃
4	有限会社 内藤商店 太田窪給油所	〃
5	堀川産業 株式会社 大宮給油所	〃
6	有限会社 福田燃料	〃
7	金方堂印刷工業 株式会社	川 口 市
8	加藤石油 株式会社 川口東給油所	〃
9	日進化成 株式会社 関東工場	〃
10	トッパンコンテナ 株式会社	〃
11	大倉工業 株式会社 埼玉工場	比 企 地 区
12	株式会社すかいらく 東松山マチャンダイジングセンター	〃
13	有限会社 長島石油	〃
14	富貴ゴルフ倶楽部	〃
15	有限会社 信合屋	〃
16	東京ベトロサービス株式会社 埼玉営業所	上 尾 伊 奈
17	DIC モールディング 株式会社	〃
18	株式会社 タマス	所 沢 市
19	朝日自動車 株式会社 本庄営業所	児 玉 郡 市
20	JA 埼玉ひびきの美里スタンド	〃
21	上武住設	〃
22	有限会社 大正	川 越 地 区
23	有限会社 笹木油店	〃
24	リアル化学 株式会社 川越工場	〃
25	有限会社 山田塗装工業所	〃
26	株式会社 倉本産業 川越工場	〃
27	三共商事 株式会社 埼玉営業所	〃
28	株式会社 親和	〃
29	東武鉄道 株式会社 川越工場	〃
30	クサカベ 株式会社 埼玉製作所	羽 生 市
31	十条ケミカル 株式会社 羽生工場	〃
32	有限会社 浅間ガス	飯 能 地 方
33	出光リテール販売株式会社 関東カンパニー美杉台給油所	〃
34	関東油脂興産 株式会社 ペリオふかや	深 谷 地 区
35	中央シェル石油販売株式会社 寄居鉢形給油所	〃
36	塚原運送 株式会社	〃
37	有限会社 塚田運輸	熊 谷 市
38	学校法人 立正大学学園	〃
39	堀川産業 株式会社 熊谷営業所	〃
40	有限会社 服部石油	狭 山 市
41	株式会社 キセキ関東埼玉支社	鴻 巣 市
42	鴻巣市農業協同組合	〃
43	アズビル TACO 株式会社	行 田 市
44	ENEOS 行田125BP SS	〃
45	行田ペイント	〃

No.	事業所	地域
46	株式会社 河商	朝 霞 市
47	東京日野自動車 株式会社 朝霞支店	〃
48	学校法人一川学園専門学校 越生自動車大学校	西 入 間 広 域
49	株式会社ヨコタ 鳩山ニュータウンサービスステーション	〃
50	医療法人 慈光会 東武丸山病院	幸 手 市
51	新井屋商店	〃
52	インテグラルレーディングアンドサービス株式会社 インテグラル越谷七左衛門給油所	越 谷 市
53	大西物流 株式会社 関東支店	〃
54	株式会社 イトーヨーカ堂 杉戸センター	杉 戸 町
55	医療法人社団 嬉泉会 春日部嬉泉病院	春 日 部 市
56	学校法人松山学園 春日部中央スイミングスクール	〃
57	東武鉄道株式会社 南栗橋車両管区 春日部支所	〃
58	日建塗装工業 株式会社 春日部工場	〃
59	株式会社 東京コーン紙製作所	〃
60	小柳商事 株式会社	加 須 市
61	株式会社 アドバンテスト	〃
62	日本製紙 株式会社 草加工場	草 加 市
63	ハリマ化成 株式会社 東京工場	〃
64	太平化学製品 株式会社 草加工場	〃
65	東浜工業 株式会社	久 喜 地 区
66	トーエイ物流 株式会社	〃
67	東武鉄道 株式会社 南栗橋車両管区	〃
68	株式会社 新星	戸 田 市
69	三和梱包興業 株式会社	〃
70	大東実業 株式会社	〃
71	日本イスエード 株式会社	秩 父
72	株式会社 東屋	蔵
73	日輪車輛 株式会社 蔵工場	〃
74	日包興業 株式会社	吉 川 松 伏
75	アトムテクノス 株式会社	〃
76	有限会社 関商店	新 座 市
77	有限会社 ナイスデイ	〃
78	株式会社 三栄興業	三 郷 市
79	有限会社 石崎燃料	〃
80	出光リテール販売株式会社 関東カンパニーアブリテール 三郷	〃
81	サンケミカル 株式会社	八 潮 市
82	株式会社 澤田興産	入 間 市
83	株式会社 サカエエネルギー	〃
84	横河電子機器 株式会社	〃
85	センコー住宅物流 株式会社	蓮 田 市
86	本沢運輸整備工場 有限会社	〃
87	コマツ埼玉 株式会社	北 本 市
88	渡邊燃料店	桶 川 市
89	高橋住設 株式会社	〃
90	太田屋米穀店	坂戸・鶴ヶ島
91	太陽鉱油株式会社 久喜インター南サービスステーション	白 岡 市
92	有限会社 村田石油	日 高 市

2 優良危険物取扱者

危険物の安全管理について、特に顕著な功労があり、他の模範となる危険物取扱者

No.	氏名	事業所	地域
1	遠藤 浩一	高陽ケミカル株式会社 浦和工場	さいたま市
2	中村 正紀	カシュー株式会社 大宮工場	〃
3	星名 昇一	東京インキ株式会社 吉野原工場	〃
4	関根 敬司	三橋産業株式会社 越谷配送センター	〃
5	野口 曜世	株式会社 城南製鋼所	川口市
6	藤倉 康晴	藤倉応用化工 株式会社	〃
7	中井 克行	有限会社 中正商店	〃
8	白石 充	有限会社 白石塗料	〃
9	石川 雄之	レモンガス株式会社 埼玉支店	比企地区
10	吉田 国夫	埼玉中央農業協同組合滑川サービスステーション	〃
11	山崎 忠	株式会社 山崎栄商店	所沢市
12	羽鳥 勝利	株式会社ワコーケミカル 埼玉工場	児玉郡市
13	杉下 武志	羽生市学校給食センター	羽生市
14	井上 浩幸	サンフィールド東吾野サービスステーション 有限会社	飯能地方
15	金谷 全博	金谷運輸 有限会社	熊谷市
16	中野 孝雄	菱星物流 株式会社	〃
17	稲葉 康幸	日立機材株式会社 関東製作所	〃
18	岡本 淳一	株式会社 DNPテクノパック	狭山市
19	小山 豊	狭山スイミングクラブ	〃
20	阿部 京子	朝霞地区運送事業協同組合	朝霞市
21	中島 祥一	株式会社 中島木芸社	〃
22	篠田 憲一	篠田ゴム工業 株式会社	越谷市
23	梅山 立之	ホクブランスポート株式会社 埼玉支店	杉戸町
24	栗原 春吉	明寿屋商店	加須市
25	籠宮 和子	籠宮商店	〃
26	深井 明	協同組合東部給食センター	草加市
27	高橋 通泰	有限会社ハイブリッドコーポレーション あさひ給油所	〃
28	更科 洋子	有限会社サラシナ ホテル夢路	久喜地区
29	関根 仁	社会福祉法人みつなみ会 特別養護老人ホームみどりの森	〃
30	林 雄二郎	キャピラージャパン株式会社 秩父デモセンター	秩父
31	市川 文雄	市川石油 株式会社	三郷市
32	木幡 毅	木幡興業 株式会社	〃
33	中根 和洋	八潮運輸 株式会社	八潮市
34	加藤 卓	北本市花卉組合	北本市

3 優良普及啓発活動

危険物安全管理思想の啓蒙及び普及において、特に顕著な功労があり、他の模範となる個人、団体又は事業所

No.	個人・団体・事業所	地域
1	大正製薬 株式会社 大宮工場	さいたま市
2	株式会社三越伊勢丹 伊勢丹浦和店	〃
3	高田製薬 株式会社 大宮工場	〃
4	有限会社 太盛	〃
5	増田 学(友栄塗装 株式会社)	川口市
6	矢島 孟(有限会社 矢島モーターズ)	〃
7	レンゴー 株式会社 東京工場	〃

No.	個人・団体・事業所	地域
8	ネットトヨタ東埼玉 株式会社	川口市
9	金子 幹博 (有限会社 カネリョウ)	上尾伊奈
10	早稲田大学 所沢キャンパス	所沢市
11	障害者支援施設 山鳩よりい	深谷地区
12	日本光電工業 株式会社 川本工場	〃
13	七福タクシー 有限会社	熊谷市
14	株式会社 國光 熊谷事業所	〃
15	日本コークス販売 株式会社 熊谷支店	〃
16	埼玉縣信用金庫 狭山支店	狭山市
17	南崎真一郎 (新狭山第一ホテル)	〃
18	イセ食品 株式会社	鴻巣市
19	日本キリスト教団 鴻巣教会付属 英和幼稚園	〃
20	学校法人 愛和学園 まむろ幼稚園	〃
21	株式会社 武蔵野銀行 鴻巣支店	〃
22	株式会社 フェイス	朝霞市
23	株式会社 ラビックス	〃
24	越谷市農業協同組合	越谷市
25	イエローハット 越谷店	〃
26	有限会社 田河商店	〃
27	イズミマトリックス 株式会社	杉戸町
28	株式会社 ジャスト 加須支店	加須市
29	株式会社 ワコム	〃
30	有限会社 高橋電気	草加市
31	山口 敬善 (株式会社 山口組)	秩父
32	山口 武義 (山口電気サービス株式会社)	蕨
33	株式会社エンゼル産業 よしかわ天然温泉ゆあみ	吉川松伏
34	神杉 章 (有限会社 神商)	和光市
35	第一倉庫冷蔵 株式会社 和光1号倉庫	〃
36	あさか野農業協同組合 和光支店	〃
37	サミットストア シーアイハイツ 和光店	〃
38	学校法人 大和学園 新倉幼稚園	〃
39	医療法人社団 翠会 和光病院	〃
40	株式会社ドライブスタンド 和光2りんかん	〃
41	株式会社 島忠ホームセンター 和光店	〃
42	医療法人社団 浅野病院	志木市
43	有限会社 東栄瓦斯	〃
44	株式会社 シリコニット	〃
45	松田 達行 (株式会社 マツダ商事)	三郷市
46	ケミカル防災 株式会社	八潮市
47	学校法人 細谷学園 富士見みずほ幼稚園	入間東部
48	有限会社 大井ドライクリーニング店	〃
49	ドライクリーニング日光	〃
50	石坂産業 株式会社	〃
51	土橋 克美 (株式会社 どぼし)	蓮田市
52	黒須 丈晴 (有限会社 クロス石油)	〃
53	ドライショップ田中クリーニング	坂戸・鶴ヶ島
54	医療法人 刀仁会 坂戸中央病院	〃
55	株式会社 小島建設	白岡市
56	株式会社 アサヒプロイラー 埼玉工場	日高市

危険物施設における事故事例と安全対策

危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター
事故原因調査課長 松尾茂美

わが国では毎年6月初旬に危険物安全週間が展開され、今年も「危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害」の標語のもと、向こう一年間事故の防止に向けて様々な努力が傾注されることとなっています。そこで本誌紙面をお借りして、危険物事故の現状そしてその低減策についての一考を記します。

1. 危険物事故の件数

危険物事故は平成6年から増加傾向に転じ、危険物施設が当時と比べ2割以上が廃止された昨年平成25年に至っても減少の傾向は見られません。表1に、両年の危険物事故件数と施設数、そしてこれらから1万施設当たりの事故件数である発生率を導き出しましたが、平成25年は平成6年の2.5倍となっており、近年は危険物に関する事故が発生しやすい状況になっていることがわかります。

表1 危険物施設の事故件数、施設数及び発生率

年	平成6(1994)年	平成25(2013)年
火災	113	188
危険物流出	174	376
合計	287	564
危険物施設数	560,790	436,918
発生率	5.1	12.9

2. 危険物施設の安全性

平成25年に発生した危険物施設事故の発生率は、12.9で、火災が4.3、危険物流出が8.6の内訳になります。

事故の発生率は、危険物施設が有する潜在的な危険性を示すものと言い換えることができます。表2では、施設区分ごとに火災と危険物流出に分けて発生率を算出しておりますが、危険物施設区分毎の潜在する安全性の位置づけを把握することができます。

表2 危険物施設における事故の発生率及び事故発生件数（平成25年）

火 災			流 出		
	発生率	件数		発生率	件数
製造所	62.7	32	移送取扱所	78.5	9
一般取扱所	19.2	124	製造所	49.0	25
給油取扱所	3.4	22	一般取扱所	15.7	101
移動タンク貯蔵所	0.9	6	屋外タンク貯蔵所	11.2	73
屋内貯蔵所	0.4	2	移動タンク貯蔵所	8.9	60
屋外タンク貯蔵所	0.3	2	給油取扱所	8.7	56
全施設	4.3	188	地下タンク貯蔵所	5.1	46
			屋内タンク貯蔵所	4.4	5
			屋内貯蔵所	0.2	1
			全施設	8.6	376

このうち給油取扱所は、所有者や従業員だけではなく危険物のことを必ずしも熟知しない沢山の利用者が出入りする施設ですが、火災及び流出ともに発生率が全危険物施設におけるものとほぼ同等な値となっており、今後の事故防止対策を考えるうえで参考となるものです。

3. 最近の主な危険物事故

平成23（2011）年3月11日の東北地方太平洋沖地震は私たちに大変な災禍をもたらしましたが、この日以降国内では重大な危険物施設の事故が続発しております。特に高い技術力を有すると言われている著名化学会社での爆発火災であり、概要は表3のとおりです。

表3 最近国内石油コンビナートで発生した爆発火災

事業所	発生日	概要
東ソー(株) 南陽事業所	H23.11.13	塩化ビニルモノマー製造施設の弁の誤作動により全プラントの緊急停止を行っていたところ、本来は塩化水素のみを貯留しておくべき塩酸塔還流槽に塩化ビニルモノマーも混入してしまい、槽内鉄錆（塩化鉄）の存在により1,1-二塩化エタンが発生するとともに、発熱により爆発。
三井化学(株) 岩国大竹工場	H24.4.22	蒸気発生プラントの不具合に伴い、レゾルシン製造施設でも緊急停止措置が取られたが、酸化反応器の冷却速度が遅いと判断に基づき、冷却方法が変更された結果、当該反応器への窒素注入が止まったことで当該反応器内の上部液温が上昇して内液の分解反応が加速するとともに内圧が上昇、当該反応器が耐圧を超えて破裂して爆発。
日本触媒(株) 姫路製造所	H24.9.29	高純度アクリル酸製造設備において、回収塔の能力アップテストの準備として精製塔ボトム液を一時的に貯蔵する中間タンク（容量70m ³ ）に60m ³ のアクリル酸が貯蔵されていたが、天板リサイクル（中間タンク内の上部液温を下げるために、底部の液を屋根上から入れるようポンプで循環させる作業）による液循環が行われなかったため、冷却コイルによる冷却効果が小さいタンク上部液温が上昇し、更に重合反応により異常な温度上昇が起こり、当該タンクが爆発。
三菱マテリアル(株) 四日市工場	H26.1.9	多結晶シリコン製造施設の水素精製設備から保守作業のため熱交換器を取り外し、別の場所で洗浄作業を行っている際に、熱交換器内部の物質（クロロシランポリマー類の加水分解物）が爆発。

上記4件の爆発火災を起こした各施設は、その形態、取り扱っている危険物及び製造物品は全く異なるものですが、事故の経過や結果を見るとそれぞれの事故の要因にいくつかの共通点があることがわかります。

①装置緊急停止の際の対応の不備 ②温度測定及び温度管理の不備 ③装置内で未知の化学反応の進行及び未知物質の生成 ④装置内での暴走反応に対する不十分な備え ⑤操作・作業が他の機器や作業へ及ぼす影響に対する想像力の欠如 ⑥非定常作業や操作の管理の不備 等ですが、各事業所においては他の事業所で発生した事故であっても自らの事業施設に照らし合わせて、事故防止のために教訓・参考となる要因は無いかについて点検・確認をしていれば、続く事故は防ぐことが出来た可能性もあります。装置が緊急停止した場合における対処方法の確認、温度の測定や管理の徹底などの確認などは、比較的容易に取り組むことが出来る対策であることから、他事業所におけるこれら失敗に関する教訓がその後には生かされなかった、残念な事故続発の状況です。

私たちは、自らの事業形態と異なるところでの事故であっても、その中から学ぶべきものを導き出して自らを省みて行かなければならないと考えます。

4 安全面の問題点

危険物事故の発生件数が減少傾向を見せず発生率も高くなっている状況で、最近の社会を取り巻く状況から安全工学を研究される方々から安全面について次の問題点が挙げられています。

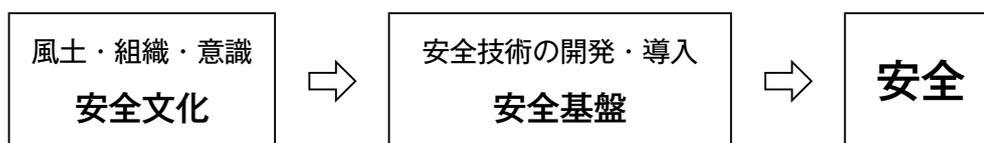
- ① **現場の少数化**: 職場で作業する方々の人数が以前に比べて少ないために、職場には多忙感が広がり、そのため安全を含めた仕組みが機能しなくなるとともに、作業する方々が省略行為・近道行為に陥ってしまうことで、安全に配慮する視点が欠けてしまう。
- ② **技術伝承の欠落**: 世代交代や現場の少数化に伴いベテランが退職されたことで、施設を建設し、システムを構築された方々の有していた経験やノウハウが、後輩の世代の方々に伝わらずに埋没してしまう。
- ③ **異常事態回避対応の知識・経験・安全システムの不足**: 技術伝承の欠落とも重なる部分がありますが、施設に異常が生じた場合の緊急システムの自動化やバックアップシステムが不十分であり、また安全設備が作動した場合又は解除した場合に、他にどのような影響を及ぼすかについての理解が足りず、また教育が不十分である。
- ④ **施設の老朽化**: 高度成長期に建設又は設置された施設・設備の維持管理が不十分な状態で、今日に至っている。

前項で紹介しました最近国内で発生した石油コンビナートでの爆発火災についても、これらの視点から解析して対策を講じることも大切ですし、また身近で日々発生するヒヤリ・ハットなどに対しても今後事故に発展させないためにも、掲げた本問題点を参考として適切な対応を考えて行く必要があると思います。

5. 安全文化の構築

安全に対する問題点が浮かび上がってきたところですが、安全を確保するために私たちが取り組むべきことはどのようなことがあるでしょうか。

各職域では、安全を主眼に置いた環境のもとで、組織は安全を第一として形成され、その構成員全員が安全を第一とした共通意識を持つという安全風土を構築し、その上で安全を確保するための技術を開発又は導入して、つまり安全文化のもと、しっかりした安全基盤を作ることで初めて安全は確保できるといわれています。



事業規模の大小に係わりなく各職域におかれましては安全文化の醸成そして安全基盤を確立して、ぜひ安全を身近なものとしていただきたいと思います。

6. その他の危険物事故について

ここまでは危険物施設についての事故事例とその対策について紹介してまいりましたが、危険物に関する事故は危険物施設以外でも発生しており、京都府福知山市の花火大会で発生した、携行缶から噴出したガソリンの爆発火災は、身近に危険が潜在していることを改めて思い知らされた事故でした。

ガソリンは乗用車の燃料としても使用される身近な危険物の代表でもあります。この事故では、携行缶入りで消防法に定める指定数量に満たない比較的少ない量であっても、取り扱いを誤ると大事に至ることを再認識しました。

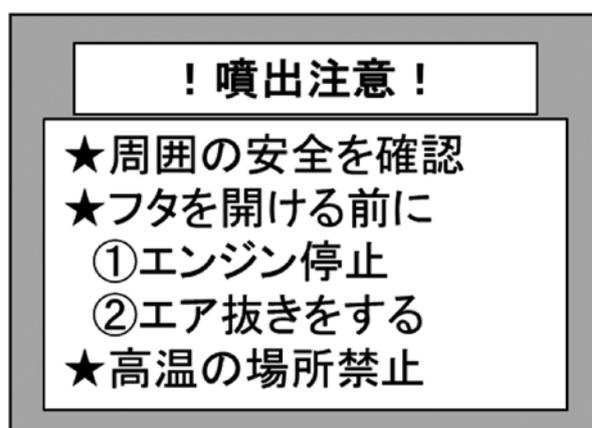
表4 兵庫県福知山市花火大会火災

発生日	概 要
H25.8.15	<p>発電機にガソリンを注入するため、携行缶のエア抜きをせずに注ぎ口を開けた途端、ガソリンが霧状に噴出し火災となった。消防庁消防研究センターの実験等では、夏季にガソリン携行缶を直射日光のあたる場所に置いたところ液温は約55℃まで上昇するとともに携行缶内圧も上昇し、蓋等を開放するとガソリン内部に気泡が発生（低沸点成分の沸騰）して大量の可燃性蒸気が携行缶外に排出される。更に発電機の排気口近傍にガソリン携行缶を置いたところ、携行缶内の液温は約90℃まで上昇し、その状態で蓋等を開放すると激しい突沸現象が起きて、大量のガソリンが開口部から吹き出す危険性が高い。</p>

【ガソリン携行缶外観】



【注意事項記載シール】



この事故を契機として、ガソリン携行缶の注ぎ口の近くには注意を呼びかけるシールが貼付されることとなりましたが、ガソリンを始めとする危険物を少量（指定数量未満）でも扱う方々も、危険性について十分な知識をお持ちいただくか又は危険物取扱者の立ち会いのもとで取り扱っていただくことが良いでしょう。

7. おわりに

本稿で取り上げました5件の事故は、平成23（2011）年3月11日の東北地方太平洋沖地震以降に国内で発生した、危険物が大きく関与し、尊い人命が奪われたものです。それぞれの事故は、その要因が相互に共通する部分もあり、今後、同様事故の再発を防ぐために私たちはこれら事故から多くのことを学ばなければならないと思います。その第一歩としてこれからの社会を生きて行く私たちは、東日本大震災そして多くの方々の命を失うこととなった危険物事故を、大切な歴史として決して忘れることなく日々過ごしていくことが大事なことと思います。

東北地方太平洋沖地震そして本稿で引用させていただきました事故で命を落とされた方々の御冥福をお祈するとともに、心身に大きな傷を受けられた方々の一日も早い快癒を心からお祈り申し上げます。

また、本拙稿を御一読下さいました皆様の安全を心から願うものです。

平成25年度 事業報告・決算報告

平成25年度事業報告

(平成25年4月1日から平成26年3月31日)

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

- ア 機関誌「埼危連」第4号の発行 10,000部
- イ 危険物安全講演会の開催（埼玉県と共催）
期日 平成25年6月7日（金）
- ウ 危険物安全ポスターの配布 8,120枚
- エ リーフレット「ガソリン携行缶の正しい使い方」の配布 10,000枚
- オ 表彰

危険物の安全管理に努め、他の模範となる事業所などの会長表彰を行うとともに、消防庁長官表彰などの対象者の推薦を行った。

- カ 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業 8団体
- キ インターネットを活用した普及啓発

連合会の実施事業をホームページに掲載し、危険物安全管理思想の普及啓発に努めた。

(2) 講習等事業

- ア 危険物取扱者準備講習会 実施回数 21回 受講者数 1,222人
- イ 危険物取扱者保安講習 実施回数 26回 受講者数 5,512人

2 収益事業

テキスト等販売事業

- ア 危険物取扱者試験準備用テキストの販売 4,190部
- イ 地下タンク等点検済証の販売（移動貯蔵タンク含む） 3,200枚

3 法人会計

(1) 諸会議の開催

- ア 総会 平成25年5月16日（ブリランテ武蔵野）
- イ 理事会 4回
- ウ 正副会長打合せ会議 5回
- エ 事務局長会議 2回

オ 表彰選考委員会

カ 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業選定委員会

キ 会長研修会

ク 事務局長・事務主任者研修会

(2) 県内関係団体との連携

(3) 埼玉県危険物事故防止連絡会

(4) 他団体との連携

ア (一財)全国危険物安全協会

イ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会

(5) 協賛事業

- 地震対策セミナー 平成26年2月14日開催

平成25年度決算報告

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,475,986	7,737,889	△ 261,903
流動資産合計	7,475,986	7,737,889	△ 261,903
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	16,539,609	16,535,478	4,131
基本財産合計	16,539,609	16,535,478	4,131
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,116,000	2,550,500	565,500
周年記念事業引当資産	4,710,018	4,510,018	200,000
事業収入変動引当資産	5,335,265	5,333,936	1,329
普及啓発強化引当資産	1,109,203	1,696,006	△ 586,803
特定資産合計	14,270,486	14,090,460	180,026
(3) その他固定資産			
什器備品	883,450	1,340,650	△ 457,200
減価償却累計額	△ 875,753	△ 1,302,380	426,627
その他固定資産合計	7,697	38,270	△ 30,573
固定資産合計	30,817,792	30,664,208	153,584
資産合計	38,293,778	38,402,097	△ 108,319
II 負債の部			
1. 流動負債			
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,116,000	2,550,500	565,500
固定負債合計	3,116,000	2,550,500	565,500
負債合計	3,116,000	2,550,500	565,500
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	16,539,609	16,535,478	4,131
(うち特定資産への充当額)	14,270,486	14,090,460	180,026
正味財産合計	35,177,778	35,851,597	△ 673,819
負債及び正味財産合計	38,293,778	38,402,097	△ 108,319

正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等 会 計	法人会計	合 計
	普及啓発 事 業	講習等 事 業	小 計	テキスト等 販 売 事 業		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益					4,131	4,131
基本財産受取利息					4,131	4,131
特定資産運用益					3,277	3,277
特定資産受取利息					3,277	3,277
受取会費					4,234,800	4,234,800
受取正会員会費					4,234,800	4,234,800
事業収益		29,814,090	29,814,090	6,995,650		36,809,740
準備講習会事業収益		7,573,800	7,573,800			7,573,800
テキスト販売事業収益				5,542,650		5,542,650
テキスト販売収益				5,336,000		5,336,000
奨励金収益				206,650		206,650
点検済証販売収益				1,008,000		1,008,000
保安講習事業収益		22,240,290	22,240,290			22,240,290
受託収益		22,069,320	22,069,320			22,069,320
奨励金等収益		170,970	170,970			170,970
全国危険物安全協会受託収益				445,000		445,000
受取補助金等	878,000		878,000		10,000	888,000
受取全危協助成金	878,000		878,000			878,000
受取関危連助成金					10,000	10,000
雑収益					21,492	21,492
受取利息					1,492	1,492
雑収益					20,000	20,000
経常収益計	878,000	29,814,090	30,692,090	6,995,650	4,273,700	41,961,440
(2) 経常費用						
事業費	2,563,267	15,516,423	18,079,690	4,969,892		23,049,582
防災思想普及啓発事業費	2,563,267		2,563,267			2,563,267
表彰費	753,030		753,030			753,030
事務費	621,131		621,131			621,131
印刷製本費	265,650		265,650			265,650
謝金	130,000		130,000			130,000
旅費交通費	28,959		28,959			28,959
通信運搬費	77,497		77,497			77,497
普及啓発強化助成費	587,000		587,000			587,000
普及啓発協賛金	100,000		100,000			100,000
準備講習会事業費		4,647,517	4,647,517			4,647,517
旅費交通費		269,305	269,305			269,305
事務費		762,575	762,575			762,575
食糧費		175,856	175,856			175,856
賃借料		576,252	576,252			576,252
謝金		1,475,000	1,475,000			1,475,000
賃金		110,000	110,000			110,000
受付・運営事務費		1,089,675	1,089,675			1,089,675
租税公課		188,854	188,854			188,854
保安講習事業費		10,868,906	10,868,906			10,868,906
旅費交通費		379,556	379,556			379,556
事務費		1,159,312	1,159,312			1,159,312
食糧費		169,361	169,361			169,361
賃借料		1,214,598	1,214,598			1,214,598
謝金		470,000	470,000			470,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等 会 計	法人会計	合 計
	普及啓発 事 業	講習等 事 業	小 計	テキスト等 販 売 事 業		
教材費		5,285,620	5,285,620			5,285,620
実施事務費		1,614,400	1,614,400			1,614,400
租税公課		576,059	576,059			576,059
テキスト販売事業費				3,862,927		3,862,927
テキスト購入費				2,990,130		2,990,130
販売協力費				387,770		387,770
賃借料				165,312		165,312
旅費交通費				22,000		22,000
賃金				110,000		110,000
事務費				45,510		45,510
租税公課				142,205		142,205
地下タンク等定期点検促進事業費				1,106,965		1,106,965
売りさばき金納付支出				929,250		929,250
事務費				10,433		10,433
旅費交通費				66,500		66,500
謝金				68,000		68,000
租税公課				32,782		32,782
管理費	391,365	14,764,942	15,156,307	1,121,772	3,302,257	19,580,336
事務管理費	390,103	14,754,850	15,144,953	1,120,510	2,014,347	18,279,810
給料手当	284,253	11,975,480	12,259,733	908,674	558,798	13,727,205
退職給付費用					565,500	565,500
福利厚生費	45,875	2,087,331	2,133,206	68,813	91,751	2,293,770
旅費交通費					103,830	103,830
事務費	18,452	110,710	129,162	18,452	221,421	369,035
賃借料	41,523	581,329	622,852	124,571	83,047	830,470
謝金					210,000	210,000
租税公課					70,000	70,000
交際費					110,000	110,000
会議費					925,294	925,294
総会費					453,672	453,672
理事会費					228,317	228,317
研修費					243,305	243,305
分担金					350,000	350,000
分担金					350,000	350,000
減価償却費	1,262	10,092	11,354	1,262	12,616	25,232
経常費用計	2,954,632	30,281,365	33,235,997	6,091,664	3,302,257	42,629,918
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,076,632	△ 467,275	△ 2,543,907	903,986	971,443	△ 668,478
評価損益等計						
当期経常増減額	△ 2,076,632	△ 467,275	△ 2,543,907	903,986	971,443	△ 668,478
経常増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計						
(2) 経常外費用						
固定資産除却損					5,341	5,341
経常外費用計					5,341	5,341
当期経常外増減額					△ 5,341	△ 5,341
当期一般正味財産増減額	△ 2,076,632	△ 467,275	△ 2,543,907	903,986	966,102	△ 673,819
一般正味財産期首残高			36,176,401	5,823,045	△ 6,147,849	35,851,597
一般正味財産期末残高			33,632,494	6,727,031	△ 5,181,747	35,177,778
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額						
指定正味財産期首残高						
指定正味財産期末残高						
III 正味財産期末残高			33,632,494	6,727,031	△ 5,181,747	35,177,778

平成26年度事業計画・収支予算

平成26年度事業計画

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

危険物に係る安全管理思想の啓発及び普及を図るため、次の事業を行う。

- ア 啓発資料（機関誌）の発行
- イ ホームページによる防災思想の啓発
- ウ 危険物安全管理思想の普及啓発を行う団体への助成
- エ 優良危険物取扱事業所等の表彰
- オ その他防災思想普及啓発のための事業

(2) 講習等事業

危険物取扱者の資質向上や育成を促進するなど危険物の安全管理体制の確立に寄与するため、次の事業を行う。

- ア 準備講習会事業
危険物取扱者試験受験者のため危険物取扱者試験準備講習会を次のとおり開催する。
 - (ア) 甲種 (3回)
 - (イ) 乙種4類 (16回)
- イ 危険物取扱者保安講習
消防法第13条の23に規定する講習を埼玉県から受託し、次のとおり実施する。
 - (ア) 給油取扱所 (9回)
 - (イ) その他施設 (17回)

2 収益事業

テキスト等販売事業

危険物取扱者試験準備講習会のためのテキスト販売や地下タンク等定期点検を促進するための点検済証販売などの事業を行う。

- ア 危険物取扱者試験準備テキストの販売
- イ 地下タンク等点検済証の販売

3 法人会計

その他連合会の目的を達成するために必要な事業

(1) 諸会議の開催

- ア 総会・理事会等の開催
- イ 研修会の開催

(2) 県内関係団体との緊密な連携

埼玉県、県内各消防本部及び関係団体との連携を密にし、連合会事業の円滑な推進を図る。

(3) 他団体との連携・協力

- ア 一般財団法人全国危険物安全協会との連携・協力
- イ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会との連携・協力

平成 26 年度 収支予算

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益			4,000	4,000
基本財産積立預金受取利息			4,000	4,000
特定資産運用益			4,000	4,000
特定資産受取利息			4,000	4,000
受取会費			4,107,000	4,107,000
受取正会員会費			4,107,000	4,107,000
事業収益	30,051,000	6,795,000		36,846,000
準備講習会事業収益	7,510,000			7,510,000
テキスト販売事業収益		5,563,000		5,563,000
点検済証販売収益		800,000		800,000
保安講習事業収益	22,541,000			22,541,000
全国危険物安全協会受託収益		432,000		432,000
受取補助金等	800,000		80,000	880,000
全国危険物安全協会助成金	800,000		0	800,000
関危連助成金			80,000	80,000
雑収益			1,000	1,000
受取利息			0	0
雑収益			1,000	1,000
経常収益計	30,851,000	6,795,000	4,196,000	41,842,000
(2) 経常費用				
事業費支出	21,045,000	5,308,000		26,353,000
防災思想普及啓発事業費支出	4,190,000			4,190,000
準備講習会事業費支出	5,120,000			5,120,000
保安講習会事業費支出	11,735,000			11,735,000
テキスト販売事業費支出		4,310,000		4,310,000
地下タンク等定期点検促進事業費支出		998,000		998,000
管理費支出	16,230,000	584,000	4,224,000	21,038,000
事務管理費	16,224,000	583,000	2,427,000	19,234,000
給料手当	13,108,000	423,000	569,000	14,100,000
退職給付費用			574,000	574,000
福利厚生費	2,186,000	70,000	94,000	2,350,000
その他事務管理費	930,000	90,000	1,190,000	2,210,000
会議費			1,440,000	1,440,000
分担金			350,000	350,000
減価償却費	6,000	1,000	7,000	14,000
経常費用計	37,275,000	5,892,000	4,224,000	47,391,000
当期経常増減額	△ 6,424,000	903,000	△ 28,000	△ 5,549,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額				△ 5,549,000
一般正味財産期首残高				35,356,029
一般正味財産期末残高				29,807,029
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				29,807,029

(注) 1. 借入金限度額 2,000,000円 2. 債務負担額 1,653,120円

会 員 名 簿

平成26年 8月 1日現在

No.	協 会 名	代表者(会員)氏名	〒	所 在 地	電話番号
1	(社)さいたま市防火安全協会	清 宮 安 雄	330-0834	さいたま市大宮区天沼町1-893	048-640-3011
2	(公社)川口市防火安全協会	渡 邊 嗣 彦	333-0848	川口市芝下2-1-1	048-261-8375
3	比企地区危険物防火安全協会	榎 田 達 治	355-0073	東松山市上野本1300-1	0493-23-2268
4	上尾伊奈防火安全協会	大 澤 正 夫	362-0013	上尾市上尾村537	048-775-1314
5	所沢市防火安全協会	並 木 政 夫	359-1118	所沢市けやき台1-13-11	04-2929-9133
6	児玉郡市防火安全協会	田 島 英 治	367-0204	本庄市児玉町蛭川915-1	0495-72-4654
7	川越地区危険物防火安全協会	馬 場 常 正	350-0823	川越市神明町48-4	049-222-0744
8	羽生市危険物防火安全協会	長 島 清	348-0065	羽生市藤井下組990-1	048-565-1234
9	飯能地方防火安全協会	加 藤 正 幸	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221
10	深谷地区防火安全協会	下 妻 僚	366-0029	深谷市上敷免858	048-571-0913
11	熊谷市防火安全協会	森 田 隆 夫	360-0811	熊谷市原島675-1	048-501-0118
12	狭山市防火安全協会	奥 富 喜 平	350-1333	狭山市上奥富1172	04-2953-7113
13	鴻巣市防火安全協会	浅 子 寛	365-0062	鴻巣市箕田1638-1	048-597-2005
14	行田市防火安全協会	横 田 保 良	361-0023	行田市長野4389-1	048-550-2121
15	朝霞市危険物防火安全協会	小 寺 崇 夫	351-0023	朝霞市溝沼1-2-27	048-463-1190
16	西入間広域危険物防火安全協会	麻 原 正 男	350-0441	入間郡毛呂山町岩井2451	049-295-0163
17	幸手市危険物安全協会	山 下 忠 雄	340-0114	幸手市東4-5-10	0480-42-9119
18	越谷市防火安全協会	小 林 政 一	343-0025	越谷市大沢2-10-15	048-974-0103
19	杉戸町危険物防火安全協会	斉 田 哲	345-0024	北葛飾郡杉戸町大字堤根4750-1	0480-33-6011
20	春日部市危険物防火安全協会	村 田 睦 幸	344-0035	春日部市谷原新田2097-1	048-738-3117
21	加須市危険物防火安全協会	鳥 海 清 人	347-0011	加須市北小浜780-1	0480-61-1012
22	草加市防火協会	堀 川 勲 夫	340-0012	草加市神明2-2-2	048-924-2113
23	久喜地区防火安全協会	池 田 岩 夫	346-0021	久喜市上早見396	0480-21-2712
24	戸田市防火安全協会	中 島 直 人	335-0021	戸田市新曾1875-1	048-420-2125
25	秩父防火安全協会	小 池 文 喜	368-0021	秩父市下宮地町10-25	0494-21-0121
26	蕨防火協会	山 口 武 義	335-0005	蕨市錦町5-1-22	048-441-0174
27	吉川松伏防火安全協会	大 澤 利 夫	342-0016	吉川市会野谷481	048-982-3919
28	新座市防火安全協会	山 崎 昌 英	352-0011	新座市野火止2-9-45	048-478-1313
29	和光市防火安全協会	神 杉 章	351-0106	和光市広沢1-3	048-461-7850
30	志木市保安防火安全協会	市ノ瀬 征 雄	353-0004	志木市本町1-3-1	048-472-0812
31	三郷市防火安全協会	松 田 達 行	341-0026	三郷市幸房1155	048-952-1298
32	八潮市防火安全協会	渋 谷 敏 男	340-0802	八潮市鶴ヶ曾根1185	048-996-0134
33	入間市防火安全協会	齊 藤 俊 明	358-0026	入間市小谷田581	04-2962-7257
34	入間東部地区防火安全協会	土 屋 榮	356-0058	ふじみ野市大井中央1-1-19	049-261-6007
35	蓮田市防火安全協会	高 橋 賢 司	349-0133	蓮田市閨戸178-1	048-768-1109
36	北本市防火安全協会	熊 木 恒 夫	364-0021	北本市北本宿188-6	048-592-5005
37	桶川市防火安全協会	青 木 啓 一	363-0011	桶川市北1-25-23	048-773-1190
38	坂戸・鶴ヶ島防火安全協会	久保田 利 明	350-0221	坂戸市鎌倉町16-16	049-281-3117
39	白岡市防火安全協会	田 中 幸 雄	349-0214	白岡市寺塚162-1	0480-92-1800
40	日高市防火安全協会	水 村 晃	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221

役 員 名 簿

平成26年7月1日現在

役職名	氏 名	所 属		
		ブロック	所 属	役職名
名誉会長	上 田 清 司		埼 玉 県	知 事
顧 問	小 島 敏 幸	-	埼 玉 県 危 機 管 理 防 災 部	部 長
顧 問	澁 澤 陽 平	-	埼 玉 県 危 機 管 理 防 災 部 消 防 防 災 課	課 長
顧 問	齋 藤 徳之助	-		埼危連前会長
会 長	清 宮 安 雄	1	社 団 法 人 さ い た ま 市 防 火 安 全 協 会	会 長
副 会 長	下 妻 僚	3	深 谷 地 区 防 火 安 全 協 会	会 長
副 会 長	奥 富 喜 平	2	狭 山 市 防 火 安 全 協 会	会 長
副 会 長	渡 邊 嗣 彦	1	公 益 社 団 法 人 川 口 市 防 火 安 全 協 会	会 長
副 会 長	村 田 睦 幸	4	春 日 部 市 危 険 物 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	田 島 英 治	3	児 玉 郡 市 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	横 田 保 良	3	行 田 市 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	榎 田 達 治	2	比 企 地 区 危 険 物 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	馬 場 常 正	2	川 越 地 区 危 険 物 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	大 澤 正 夫	1	上 尾 伊 奈 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	小 林 政 一	4	越 谷 市 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	高 橋 賢 司	4	蓮 田 市 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	池 田 岩 夫	4	久 喜 地 区 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	山 口 武 義	1	蕨 防 火 協 会	会 長
理 事	小 寺 崇 夫	2	朝 霞 市 危 険 物 防 火 安 全 協 会	会 長
常務理事	平 野 豊 実		公 益 社 団 法 人 埼 玉 県 危 険 物 安 全 協 会 連 合 会	事 務 局 長
監 事	山 下 忠 雄	4	幸 手 市 危 険 物 安 全 協 会	会 長
監 事	熊 木 恒 夫	1	北 本 市 防 火 安 全 協 会	会 長
監 事	神 杉 章	2	和 光 市 防 火 安 全 協 会	会 長

平成26年度 危険物取扱者保安講習のご案内

平成26年度危険物取扱者保安講習の9月以降の開催予定は次のとおりです。該当する方は必ず受講してください。なお、講習案内、受講申請書は危険物安全協会、防火安全協会等（消防本部内又は一部消防署内）にあります。受講申込みの際には、免状と埼玉県収入証紙 4,700円（受講手数料）が必要です。

講習日・講習会場・定員

種別	講習日	講習会場	定員
給油取扱所	9月17日(水)	熊谷市立勤労会館	200
	9月18日(木)	春日部市民文化会館	400
	9月19日(金)	朝霞市産業文化センター	168
	12月4日(木)	さいたま市文化センター	330
	1月30日(金)午前	さいたま市文化センター	330
その他の施設	10月15日(水)	さいたま市民会館うらわ	450
	10月16日(木)	熊谷市立文化センター文化会館	500
	10月17日(金)	朝霞市民会館	432
	11月7日(金)	久喜総合文化会館	300
	11月14日(金)	川越西文化会館	350
	12月5日(金)	さいたま市民会館うらわ	450
	1月30日(金)午後	さいたま市文化センター	330

講習時間は13時～16時（12時30分から受付）

注1）1月30日（金）午前の講習時間は9時30分から12時30分まで（9時10分から受付）

1月30日（金）午後の講習時間は13時30分から16時30分まで（13時から受付）

注2）各会場とも申込者が定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。

この講習のお問い合わせは、各協会（16ページ「会員名簿」参照）、又は当連合会（Tel 048-834-7784 ホームページ <http://www.saikiren2007.or.jp/>）までお願いします。

平成26年度(後期) 危険物取扱者試験準備講習会のご案内

危険物取扱者試験受験者の予備知識向上のため、次のとおり試験準備講習会を開催します。直前対策として、試験合格の近道だと思しますので、奮って受講されるようご案内します。

講習日・講習会場・定員

種別	期別	講習日	講習会場	定員
甲種	2期	10月25日(土)・26日(日)	埼玉県防災学習センター	108
	3期	1月17日(土)・18日(日)	With You さいたま(プリランテ武蔵野4階)	72
乙種第4類	9期	9月6日(土)・7日(日)	鴻巣市市民活動センター	80
	10期	9月12日(金)・13日(土)	埼玉県県民活動総合センター	120
	11期	11月1日(土)・2日(日)	蕨市民会館	110
	12期	11月8日(土)・9日(日)	春日部市市民活動センター	110
	13期	11月15日(土)・16日(日)	埼玉県防災学習センター	108
	1日	*11月30日(日)	埼玉県防災学習センター	108
	14期	2月5日(木)・6日(金)	キララ上柴(深谷市)	120
	15期	2月14日(土)・15日(日)	朝霞市産業文化センター	120

*印の講習は1日の講習です。

申し込み方法等 各協会（16ページ「会員名簿」参照）、又は当連合会（Tel 048-834-7784 ホームページ <http://www.saikiren2007.or.jp/>）までお問い合わせください。